

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和5年6月2日 NO.6



# ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校  
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

## ◇苗植え・さつまいも植え◇5/17(水)、18(木)

学校の畑で、1年生～4年生は野菜の苗植え、5年生はバケツ稲をしました。さらに、18日には4年生と6年生が、学校近くの酒井さんの畑をお借りし、サツマイモの苗を植えました。老人会の大橋さん、中村さん、川淵さんにご指導いただき、50本の苗植えをがんばりました。

お世話頂いた皆さんに感謝致します。今後もよろしくご指導ください。



## ◇教育実習始まる◇期間：5/29(月)～6/23(金)

本校の卒業生です。今月より教育実習が始まりました。主に4年生と実習をします。

また、他学年の教室にもおじゃまして参観しますので、よろしく願います。クラブや委員会にも参加します。先生になる勉強を重ね、夢を実現できますように、学校も応援しています。



金沢学院大学教育学科から参りました、西彩花と申します。大好きな母校で教育実習を行えること大変嬉しく思います。担当学年は4年生です。

5月29日から4週間、松田先生や他の先生方に助けていただきながら、一生懸命頑張りますので、よろしく願います。

## ◇全校集会：校長の話◇6/1(木)

全校集会では、「ものの見方や考え方は一つではない」の話を2つしました。1つ目は、1年生にも分かるように算数の問題を出しました。この問題の答えを全員に聞きました。3通りの答えを期待しました。①10匹 ②4匹 ③3匹

さかなが7ひきいます。  
3びきもらいました。  
いま、なんびきいますか?  
?    ?

①10ひき  
②4ひき  
③3ひき



じぶん おも  
・自分はこう思う(じぶんとちがうけど)  
・えーっ  
・なんて  
・どうして

ちがいに  
かんしん  
関心をもってほしい

実は、この問題の答えは3通りでもおかしくありません。どう考えたかで数字が違うからです。「自分の答えとは違う。間違えた。あーあ」ではなく、「どうしてそう考えたの?」「へえー」「そうなんだ」「なるほど」と友達の考えに関心を持ってほしいのです。

2つ目。ライオン、シマウマのイラストから「どう思う」につなげて、ライオン目線、シマウマ目線、自然界目線。それぞれのとらえ方があることを伝えました。



に  
①しまうま 逃げて (しまうま)  
えもの  
②獲物だ、つかまえる (らいおん)  
しぜんかい きび  
③自然界は厳しい (しぜん)

・わたしの考えになかったこと  
・「へえー」友だちの考えがいいかも  
・友だちのいろいろな考えにふれる  
だから、勉強は楽しい

## ◇ちょっと親学◇

子どもが成長していくとは、学習した知識を身につけること、目の前の課題をどうしたら解決できるか考えをめぐらすなど、学習の知識を思いがちですが、「生活の技」を身につけることは、将来を見据えるととても大事です。

- ◆「あいさつ」は人に欠かせない「対人関係の技」です。
- ◆「ごめんなさい」「ありがとう」も対人関係を潤滑にする技です。
- ◆「朝、早めに起きる」「朝食を食べる」「ゲーム時間を守る」は、生活習慣の技です。
- ◆「歯ブラシを使う」「タオルをたたむ」などは、生活用具活用の技です。

これらの「生活の技」を身につければ、「自立した大人」に近づけるでしょう。保護者からすると、子どもに、「しつける」といってもいいのかもしれませんが。

「しつけ」という字を漢字で書くと「躰」。身が美しいと読みます。身につけたものが、他の人から「美しく」見えるのだと思います。

そして、その人が身につけたもの(美しさ)をさして、「品がある」という言い方をするのでしよう。

学校では「あいさつ、返事、話を聞く」等を指導しています。

大きなあいさつ、返事ができれば、それだけで「生きる力」です。

周りの人は、好印象を抱くでしょう。言葉遣いも大切です。

丁寧な言葉遣いは、その人の人格も表します。先生や目上の人と話すとき、授業中など人や場所に合わせて話すようになることが大切です。「挨拶・返事・言葉使い、そして時々の笑顔！」があれば、社会に出てからもかわいがってもらえる。

私の先輩からいただいた心に残る一言です。

おはようございます!!

